

輸出用サツマイモを守れ！九州基腐病対策研究会
第2回 基腐病を診る

「サツマイモ基腐病菌の分離・培養と診断」



【講師】

宮崎大学 農学部
植物生産環境科学科
教授 竹下 稔氏



1998年 九州大学大学院後期博士課程修了
九州大学 (博士 農学)
九州大学農学部助手
2007年 同大学院農学研究院助教
2015年 宮崎大学農学部教授
専門：植物病理学、植物ウイルス学

7月14日(木)

15:00~17:00

Zoom開催

申込締切7月12日(火)まで

参加費無料

定員：50名

(事前申込が必要です)

農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

ホームページからWEB申込み

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/~a2b-platform/topics>



【主催】 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

【共催】 宮崎大学産学・地域連携センター、公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

【お問い合わせ先】 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構OPACK 担当 田代

TEL : 092-805-3677

E-mail : info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp



農林水産物の 輸出促進研究開発プラットフォーム @九州・沖縄

【プログラム】

- 15:00 開会
- 15:10 講演
「サツマイモ基腐病菌の
分離・培養と診断」
宮崎大学農学部植物生産環境科学科
教授 竹下 稔 氏
- 16:10 意見交換
- 16:45 プラットフォームの活動紹介
九州基腐病対策研究会 今後の予定
- 17:00 閉会

【農林水産物の輸出促進研究開発 プラットフォーム@九州・沖縄】

農林水産物の輸出拡大のためには、生産・加工体制、鮮度保持、品質規格・基準への適合、生活・文化の違いを理解したマーケティングなど、多数の未解決の課題が山積しています。

本プラットフォームでは、農林水産省「知」の集積と活用を基盤に、地域や企業の声を聴き、多方面からの参画を求め、ニーズとシーズが交流できる場を構築することにより、バックキャスト型で研究・実践する活動を幅広く展開いたします。

この度、研究テーマごとに「農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄キャラバン（略称：きゅうおきキャラバン）」なる産学連携交流会を開催し、課題解決・事業化を目指して取り組んでまいります。

プラットフォームHP：

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/~a2b-platform/#news>

【きゅうおきキャラバン シリーズ1】

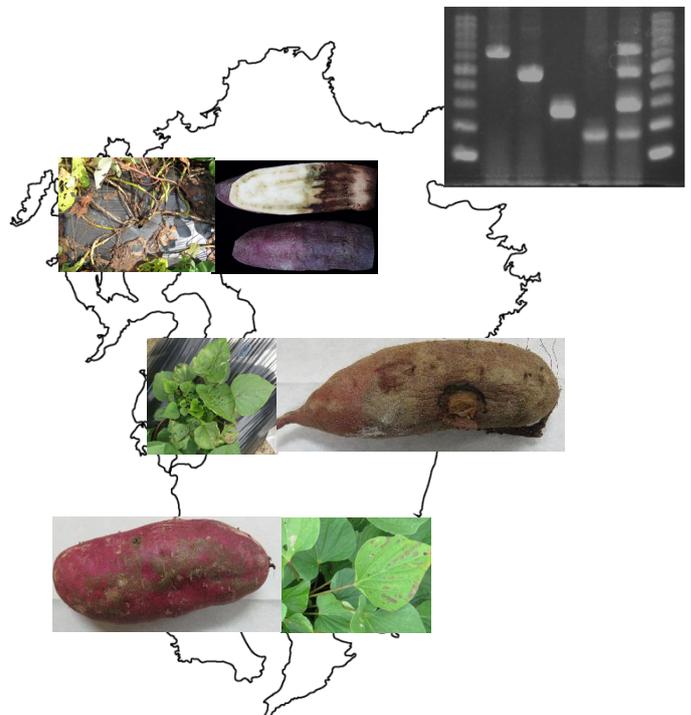
「九州基腐病対策研究会」開催趣旨

南九州地域では、現在、サツマイモ生産を脅かす「基腐病」が深刻化しています。輸出品目としても重要な「サツマイモ」の産地を守るためには、この病気を知り、適切な対処を行うことに加え、新しい病害対策技術を開発することが重要です。

第1回では、サツマイモ基腐病の病害について解説いただき、診断技術の開発や海外での対策技術に対して意見が寄せられました。

今回は、サツマイモ基腐病の診断技術や感染調査の知見を植物病理学の研究者から解説していただきます。また、参加者の皆様と双方向で意見交換し、基腐病対策の新しい視点を見つけていきたいと考えています。

サツマイモ基腐病撲滅に向けて、様々な立場の参加者の皆さまと意見を交わし、研究会を設立します。



<参加規約>

- ・応募者の個人情報は、当PF事務局が催すセミナーなどのご案内のみに利用させていただきます。
- ・配信映像の録音・録画・スクリーンショット等の撮影は禁止させていただきます。
- ・資料、動画等の一切の著作権等は、主催者、出演者等に帰属しており、再利用、複製その他の著作権等を害する行為を禁止させていただきます。